

Berlin Report

September 2025

CONTENTS

- * Project 1: Al Bocconcino
- * Project 2: Alchemia

1. Al Bocconcino

Project Overview

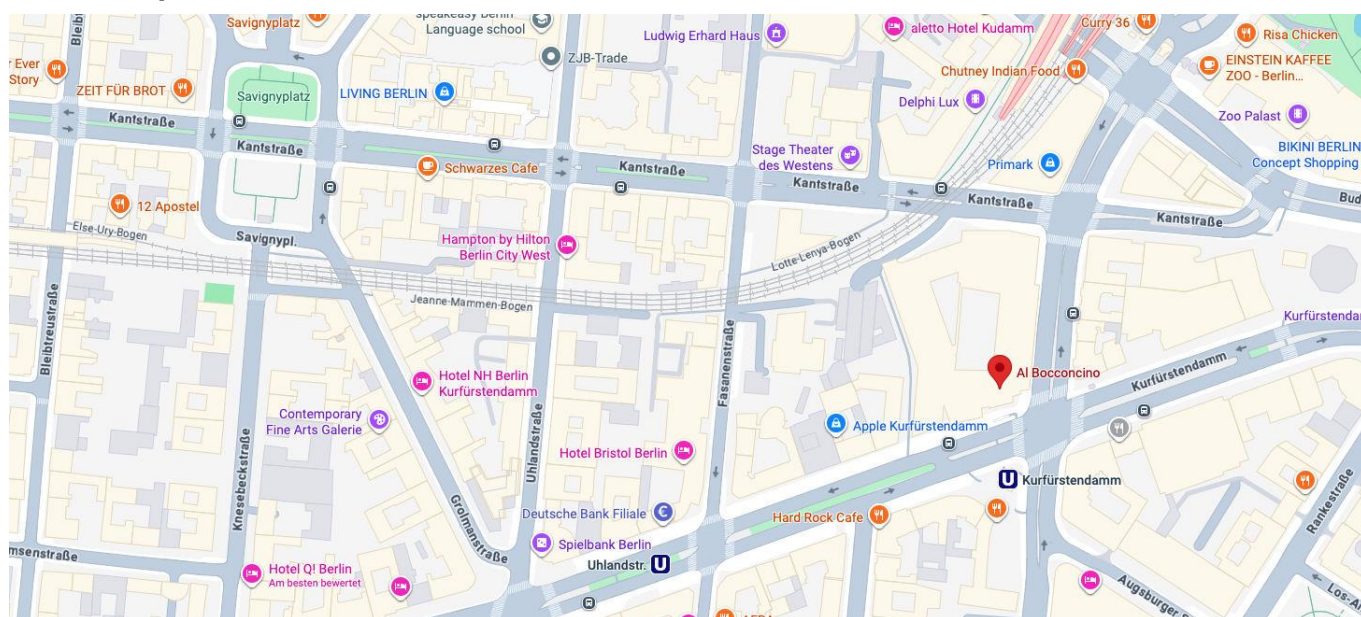
イタリア語で「一口サイズ」を指す言葉を店名として掲げる「Al Bocconcino」は、ベルリンの目抜き通りクーダムにオープンしたばかりのイタリア料理店だ。ロンドンで、映えるインテリアが人気を集める「EL&N」カフェグループが経営する店は、実は当初はカフェになる予定だったという。ラグジュアリーブランドの旗艦店が軒を並べる立地ということもあり、高級イタリアンへとコンセプトを変更。それに合わせて、インテリアもトレンドのアールデコ調を取り入れたエレガントなものとなった。

大通りに面した、しかし小さな入り口から一步足を踏み入れると、ダークグリーンとピンクの世界が広がる。白と黒の幾何学的な模様のタイルを敷き詰めた床も印象的だ。壁には、ウクライナの若手アーティストが描いた、やはりピンクとグリーンが印象的な絵画が掛けられている。窓がなく細長い空間だが、窓のように配置された鏡が空間に広がりを与えている。7メートルもの長さがある人工石のカウンターがあるバースペースを挟んで、奥は公園へと続く明るい空間。トーンの異なるピンクのソファとスツールが置かれ、壁画と楓の木がさらに深みのある赤色を散りばめる。真鍮を使った丸いランプに、床とテーブルには明るい色の人工石を使用。映えるが高級感もあるインテリアを実現している。

Project Details

1. Client: Al Bocconcino
2. Type of Business: Gastronomie
3. Open Date: 15.07.2025
4. Location: Kurfürstendamm 20, 10719 Berlin
5. Size: 200 seats
6. Interior: inhouse, kachanow interior / Artwork: Murals Lena Kachanova
7. Website: <https://albocconcino.de/>

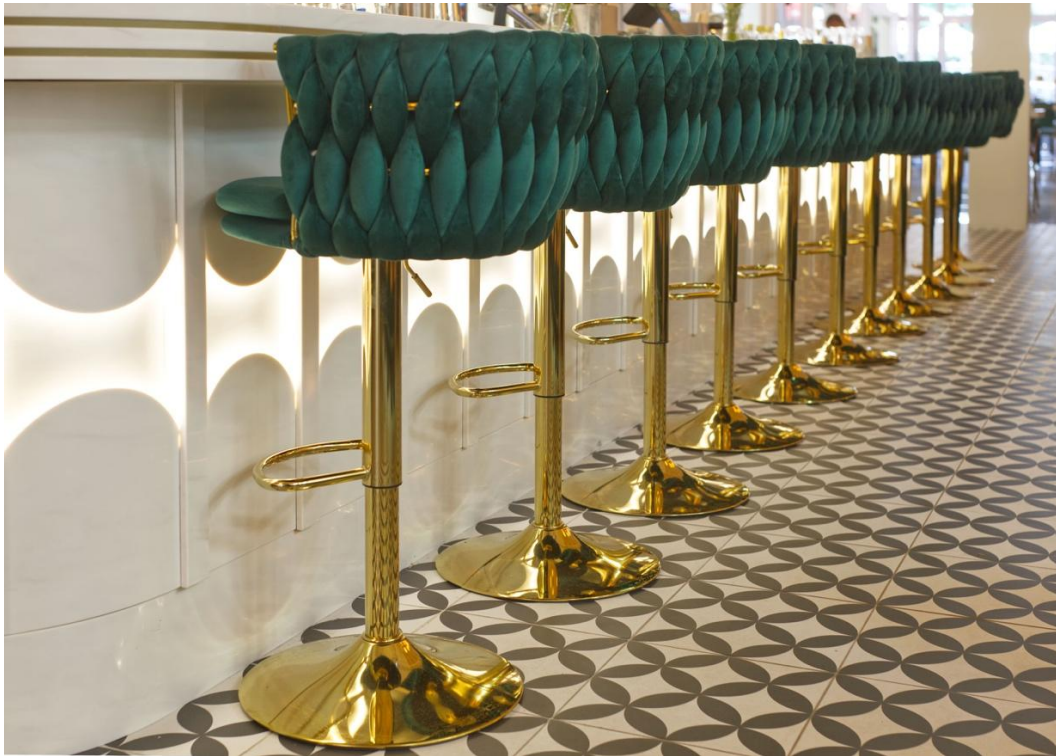
Location Map



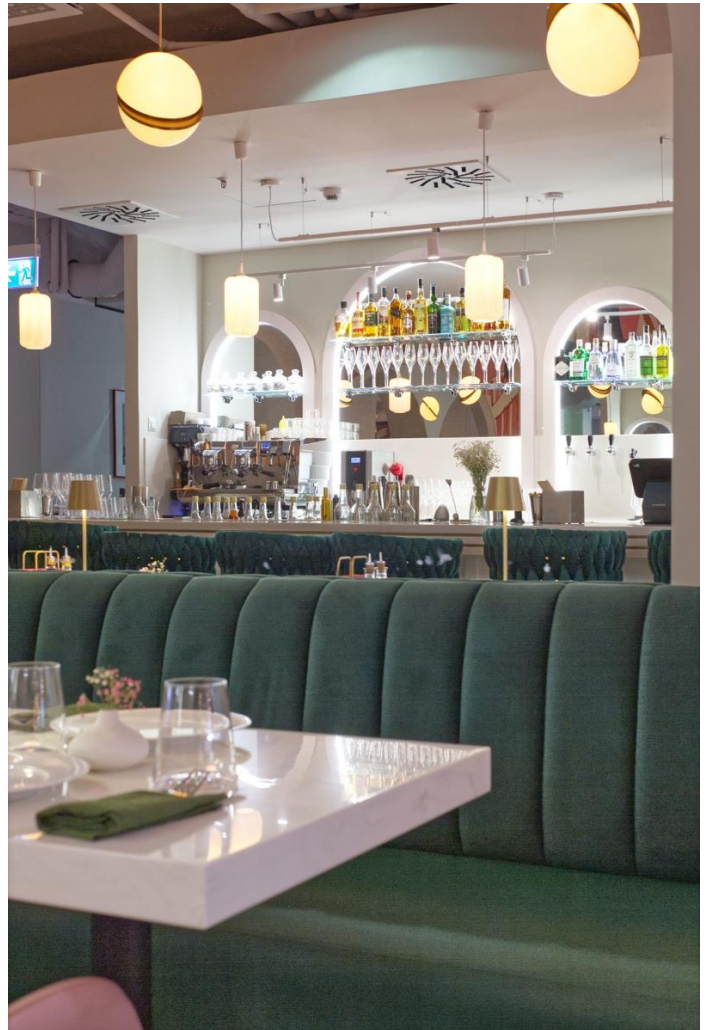


上：50 平米もの大きな壁画が壁全体を覆う。公園に面した明るい空間。下：鏡と絵画、ボールランプが 1920 年代のカフェを彷彿とさせる。





上：長さ7メートルのカウンターに、ベロア x キルティング加工のグラフィカルなバースツールがずらり。下：ボールランプが空間に動きを与える。



2. Alchemia

Project Overview

1976 年、Alessandro Guerriero と Bruno Gregori らによってミラノで創立された前衛デザイン集団「Studio Alchimia」。バウハウスが 20 世紀前半のヨーロッパデザインにおける画期的な存在だとしたら、この Alchimia は 20 世紀後半を動かす大きな転換点を作ったと言えるだろう。Alessandro Mendini や Ettore Sottsass、Andrea Branzi といった錚々たるメンバーが名前を裏ねる。この運動初となる大規模な回顧展がベルリンの BRÖHAN MUSEUM で開催された。

Studio Alchemia は、中世の錬金術師を思わせる名称からもわかるとおり、あえて安っぽい素材を用いて美しいものを生み出そうと試みた。彼らは、バウハウスの時代から主流となっていた大量生産に適した機能重視のデザインを離れ、毒々しい色合いやチープで人工的な素材を使った挑発的で個性的な美を提案する。重視するのは、創造における「センチメンタルな思考」と「愛と魔法」。展覧会のセノグラフィーにもこの哲学が反映されている。

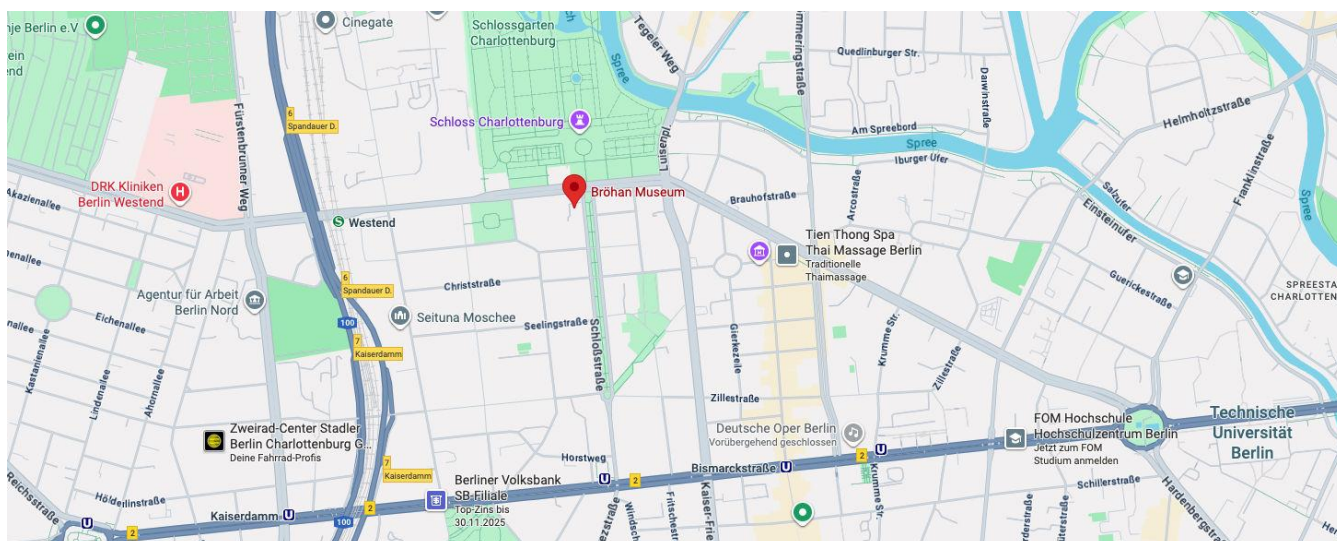
カラフルな展示空間に置かれた展示台は斜めになり、凹み、絵は壁からはみ出す。ポップな文字やミラー素材を貼った円柱をランダムに設置し、走り描きのようなスケッチをそのまま立体にしたコーナーもある。展示空間が丸ごと、Studio Alchemia の作品のようだ。

ファッションや映画、音楽など、1980 年代カルチャーのリバイバルが続く昨今。80 年代の空気感までもを体現する Alchimia のデザインは、いまこそ注目すべき存在なのだと実感させられる展示となっていた。

Project Details

1. Client: BRÖHAN MUSEUM
2. Type of Business: Exhibition
3. Open Date: 17.04. - 07.09.2025
4. Location: Schlossstrasse 1a, 14059 Berlin
6. Scenography: Kathleen Arthen
7. Website: <https://www.broehan-museum.de/>

Location Map





上：Alessandro Mendini デザインのソファ、Proust。下：強烈な 1980 年代デザインは、Mendini の Otto シリーズ。





上：Ettore Sottsass の棚、Carlton は 1981 年のデザイン。下：バウハウスと名付けられたスケッチを立体化したコーナー





オブジェにしか見えないが、なんと洋服。展示台も凹みを作ったりと作品に呼応させている。

